



令和六年度
石盤葺技能講習会

2025.1.16 (木) – 1.17 (金)

講習内容 ① 『石を^しる』雄勝石明神採石場の視察
② 『石を葺く』天然スレート葺き技能実習および座談会

主 催 | 佐々木信平 石盤葺選定保存技術保持者 (信玄石盤工房) / 雄勝天然スレート工業工事技術保存会
後援(予定) | 石巻市 / 登米市 / 河北新報社 / (一社) 宮城県建築士会 / 矢作町天然スレート屋根を守る会

この講習会は 文化財保存技術国庫補助、
および公益信託大成建設自然・歴史環境基金 2024 年度助成金『国産天然スレート屋根の保全に必要な石盤成型および屋根葺きの技能継承』を受けて開催します
写真 | 長谷山観音寺 (陸前高田市) 本堂の天然スレート差し替え作業

遅れた地場産業の復興

東日本大震災発災後、生産されることがなかった雄勝産天然スレート。雄勝硯生産販売協同組合は長年、当地で石材業を営んできた木村満氏の助言を得て、2021年7月から13ヶ月間にわたって試験生産に取組み、実に10年ぶりに雄勝産天然スレートを再生産しました。

2023年12月。北海道庁をはじめとする多くの関係者のご厚意により、北海道庁旧本庁舎改修工事に7,128枚の雄勝産天然スレートを納品させて頂き、2024年夏、石巻の屋根葺きを含む全国の職人らで葺き上げたことは喜びも一入で、職工人としての矜持を保つ好機となりました。ここに、遅ればせながら雄勝の地場産業のひとつが復興しました。

雄勝天然スレート工業工事技術保存会

この試験生産を通して、天然スレート屋根は採石・成形する『職工』と屋根を葺く『職人』が、両輪となることで屋根としての性能を担保していることを強く認識することとなりました。

よって2024年7月。精緻な成形術と卓越した葺き技能を互いに共有することで、次代に遺すにふさわしい美しい屋根造形に寄与したいとの思いから、雄勝天然スレート工業工事技術保存会を発足させました。

そこで今年度の石盤葺技能講習会は、例年の石盤葺実習に加えて、雄勝石の採掘現場に足を延ばし、国内に比類なき石質をもつ雄勝石に触れる機会を設けて、二日間にわたり開催します。

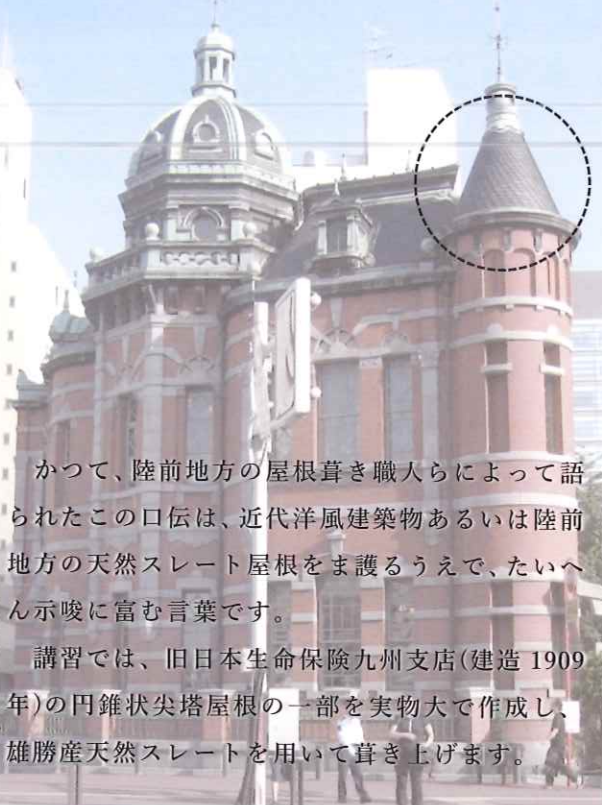
ご参加をお待ちしております。

令和元年十月。
天然スレートの再生産は、層厚二百mともいわれる巨大な岩塊に、手作業でセリ矢を打ち込むという、
いまにしてみれば無謀とも思える試行から始まりました。
それだけ必死でした。

雄勝硯生産販売協同組合



雄勝の石を葺けて一人前



かつて、陸前地方の屋根葺き職人らによって語られたこの口伝は、近代洋風建築物あるいは陸前地方の天然スレート屋根をま護るうえで、たいへん示唆に富む言葉です。

講習では、旧日本生命保険九州支店(建造1909年)の円錐状尖塔屋根の一部を実物大で作成し、雄勝産天然スレートをを用いて葺き上げます。

①『石を智る』 2025年1月16日(木) 13:00~16:00

雄勝石の採石場を視察します ※荒天時は内容を変更し屋内で行います
集合場所 | 宮城県石巻市雄勝町明神漁港近く

②『石を葺く』 2025年1月17日(金) 9:00~15:00 (昼休み12時-13時)

原寸大で模した重文建造物の屋根に石を葺きます
集合場所 | 宮城県登米市豊里町後沢田52-2 信玄石盤工房
※昼食について…付近には飲食店がありません。予めご持参頂くか、ご希望の方には、お弁当(お茶付き1,000円税込)をご用意します。参加申込時に“弁当必要”と記して下さい。代金は当日、現金でお支払い下さい。

定員 | 30名 ※定員になり次第、締切り 参加費 | 無料 申込み方法 | 下記QRコードから

懇親会 2025年1月16日(木) 18:00~20:00

親睦を図り、スレート屋根の将来を語りましょう
会場 | 追分温泉 宮城県石巻市北上町女川字大峯1
宿泊費は各自ご精算ください。朝夕食付き税抜10,000円ほどを予定しています。参加をご希望される場合は、主催者側で一括して宿泊の予約をしますので、下記の方法により12月12日(木)までにお申し込み下さい。

■ 問合せ先

雄勝天然スレート工業工事技術保存会
宮城県登米市豊里町後沢田52-2
担当 | 阿部 090-2604-0621

■ 申し込み方法

右のQRコード(令和6年度石盤葺技能講習会 申し込みフォーム)から申し込み下さい。



■ 会場案内

① 石巻市雄勝町明神漁港近く



② 登米市豊里町後沢田52-2



懇親会場(追分温泉)

